

Mamaの広場
うらがCO-OP

70周年記念誌



Thank
you!

一人は万人の
ために
万人は
一人のために



ごあいさつ

理事長 長谷川 伸行

生活協同組合うらがCO-OPの創立70周年にあたり、ご挨拶申し上げます。

当生協が本年70周年を迎えることができたのは、ひとえに地域や職域の組合員、総代の皆様、職員の方々のご支援とご協力のおかげであり、心より御礼申し上げます。

生活協同組合うらがCO-OPは、1955年5月に浦賀船渠株式会社内で開催された労働組合員による生協創立総会を経て、誕生いたしました。その後、幾度かの名称変更を経て、2008年に現在の「生活協同組合うらがCO-OP」となりました。現在では、横須賀市を中心に三浦半島全域や横浜市の一部にまで活動区域を拡大し、3万7千人余りの組合員の皆様とともに活動を進めております。

初代理事長・近藤一郎氏から始まり、私が十五代目の理事長となります。この間、幾多の困難に直面しながらも、今日ここに至ることができたのは、これまで当生協の事業活動に携わってこられた関連事業の皆様や、数多くの諸先輩をはじめとする役職員の汗と努力の賜物であります。この70周年の記念すべき年を「未来に向かって新しい一步を踏み出す年」と位置づけ、今後も生活協同組合うらがCO-OPの経営基盤づくりに取り組んでまいります。

うらがCO-OPの活動は、「喜びを実感できる運営」「人と人のつながり、思いやりの心」を大切にしたい取り組みや、「SDGs」に基づく持続可能な活動を推進してまいります。これらは、世界中の国々、企業や団体が共通の目標として掲げ、取り組みを強化している課題でもあります。

生協で働くすべての者が組合員とともに、生き生きと輝く生協を築き上げ、「心豊かな暮らし」「安心して暮らし続けられる地域社会」を目指してまいります。強固な事業基盤を築き上げ、生活協同組合うらがCO-OPを永続的に発展させることが、私たち現役世代に課せられた責任と使命であり、その覚悟をもって邁進する所存でございます。

今後とも、関係各位のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

うらがCO-OP 事業内容

組合員数 37,625名 ※2025年9月20日時点

宅配センター

住 所	横須賀市内川1-6-1
事業内容	個配・グループ宅配

浦賀店

住 所	横須賀市浦賀6-2-19
事業内容	食料品、日用品販売

追浜店

住 所	横須賀市夏島町19 (住友重機械工業株式会社横須賀製造所内)
事業内容	食料品、日用品販売

共済グループ

住 所	横須賀市浦賀6-2-18
事業内容	CO・OP共済のご案内

本部事務所

住 所	横須賀市浦賀6-2-18
-----	--------------

大津エリア

浦賀店 2FCR



鴨居エリア

浦賀店 2FCR



久里浜エリア

内川町内会館



ハイランドエリア

ハイランド2丁目町内会館



組員活動委員会

浦賀本部



長沢エリア

サンカフェ広場



編集委員会

かわらばん・機関紙うらがの編集

サークル活動

和（なごみ）

第1 水曜日10時～13時 浦賀店 2FCR
お米を中心とした料理

ファインホーム

第2 月曜日10時～15時 浦賀店 2FCR
トールペインティング

食のロマン

奇数月の土曜日に1回開催10時～15時30分 浦賀店 2FCR
男の料理

ふきのとう

第1 火曜日10時～13時 浦賀店 2FCR
調理や手芸、折り紙など

子どもレストラン（新2024年発足）

第3 金曜日10時～13時30分 浦賀店 2FCR
子どもレストランメニューの開発

なつかしい50年間

組合員数3,216名でスタートした浦賀生協。
時代の流れの中で、組合員の生活を支え、組合員とともに大きく成長しました。

1955年度（昭和30年度）～1974年度（昭和49年度）

- '55 浦賀船渠株式会社の職域生協として設立
第1売店（旧・本部店）開店
- '56 大津売店・川間店開店
- '57 久里浜海岸店・鴨居店が委託店として開店
その後直営へ
- '58 生協牛乳（10円牛乳）始まる
- '59 浦賀造船所生活協同組合に名称変更



1955年5月17日創立総会



船殻工場3号売店の牛乳売店



増築された第1売店の
精肉売り場



なつかしいコープ商品

- '60 神奈川県生協連合会に加入
- '61 優良生協として厚生大臣より表彰
- '62 第1売店（旧・本部店）大幅増改築
- '63 組合員家族との懇談会開催（店舗班の原点）
- '64 日本生協連合会加入
セフター、1升ビン醤油の開発

- '65 創立10周年記念式典開催
- '66 横須賀市、三浦市生協運営協議会開催
- '67 地域化を決定。地域組合員家庭班誕生
- '68 「みんなの消費者展」参加
- '69 浦賀生活協同組合に名称変更
- '70 地域化が強化され、家庭班121班となる



第1回家庭班班長会



久里浜店開店



共同購入風景



久里浜店被害甚大

- '71 「くらしと健康を守る」運動として街頭署名
- '72 鴨居店開店
米、酒、牛乳、灯油、CO・OP商品が揃い共同購入、
店舗班が活発化
- '73 オイルショック、狂乱物価、1,500人の
大量新規加入
- '74 台風8号久里浜店、荒巻倉庫大被害
第8回全国生協大会で当生協「優秀賞」受賞

1975年度（昭和50年度）～1994年度（平成6年度）

- '75 創立20周年を記念してシンボルマーク決定
第1回組合債で旧浦賀本部店誕生
- '76 地域理事として、2名の女性理事誕生
地域総代20名
- '77 浦賀での第1回生協まつり、みかん山グラウンドにて
- '78 地域理事4名、地域総代50名に
- '79 津久井浜店開店



シンボルマーク



女性理事2名誕生



浦賀での第1回生協まつり



母と子の原爆展

- '80 LAS、ABS系有リン洗剤を店頭から追放
地域理事5名、地域総代70名に
- '81 長沢店開店（コープかながわとの連帯の店）
- '82 組合員メダル、お買物袋定着
省資源運動としてお買物袋の持参を勧めた
- '83 職域班（85名）の誕生
- '84 武山店誕生

- '85 浦上台入口店開店
創立30周年を組合員と共に
- '86 地域生協へ（職域生協も組織した）定款変更
産地提携米「一粒」を開発
- '87 津久井浜店、川間店を閉店
- '88 組合員参加で機関紙「うらが」編集委員会発足
- '89 佐久農協で「第1回親子キャンプ」開催
YES '89横浜博覧会に参加
カルチャー連絡会発足



佐久町「一粒」米の
産地見学



「消費税反対」神奈川大会



みかん山グラウンドで
職員ソフトボール大会



神奈川県生協連合会
水質調査報告会にて

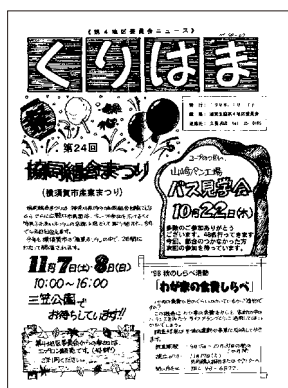
- '90 ユーコープ事業連合に加入
創立35周年を組合員の手づくりで開催
助け合いの会発足（家事援助中心）
- '91 牛乳パックの回収開始
- '92 地域理事8名に増員
木村農園友の会発足
- '93 全店舗で発砲スチロールの回収開始
- '94 第20回協同組合まつり雨天のため午後は中止
合同組合委員会主催、第1回賀詞交歓会

1995年度（平成7年度）～2004年度（平成16年度）

- '95 資源の有効活用をはかる署名活動
「40周年のつどい」浦賀・住友体育館
- '96 「親子じゃが芋掘り体験」木村農園
産業まつり（第22回協同組合まつり）
- '97 地区委員会発足に向け協議を行う
遺伝子組み換え食品学習会



97名が参加した木村農園での
親子じゃが芋掘り体験交流会



「くりはま」優秀賞受賞
日本生協連主催ニュースづくり
コンテストでみごと第4地区
「くりはま」が受賞



提携福祉活動組合員交流会で
助け合いの会がペープサート
形式で活動発表

- '98 日本生協連主催ニュースづくりコンテストで
第4地区「くりはま」が受賞
提携福祉活動組合員交流会で助け合いの会が
ペープサート形式で活動発表
- '99 SM店がユーコープシステムへ
産業まつり（第25回協同組合まつり）にて、地
区外の活性化に向けて「出向く試食会」の実施
- 2000 組合員活動委員会が45周年にあやかって「お
さそい試食会45」を開催
おとこの料理講習会

- '01 食品館として、浦賀店mamaの広場がオープン
第6地区委員会による武山店の土曜市が盛況
- '02 茨城県八郷農協見学
組合員活動委員会が「子どもの広場」をスタート
- '03 生産者グループ信州北志賀「信州愛林檎の会」
と産地交流
第5地区「津久井の自然を守る会」が“かな
がわ地球環境賞”を受賞
- '04 mamaの広場大津店新装オープン
武山店閉店
mamaの広場鴨居店オープン 450坪の大型店



食品館として
浦賀店mamaの広場がオープン



第6地区委員会による武山店
土曜市は大好評でした



食品館第2号として
mamaの広場大津店オープン



mamaの広場
鴨居店は450坪の大型店舗



「子どもの広場」
3才未満のお子さんと
ママたちが楽しく交流



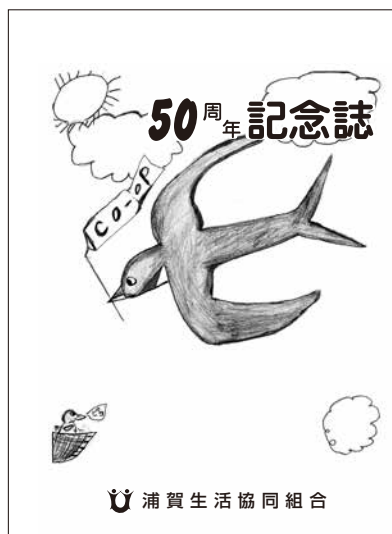
50周年から70周年までの歩み



生活協同組合 うらがCO-OP

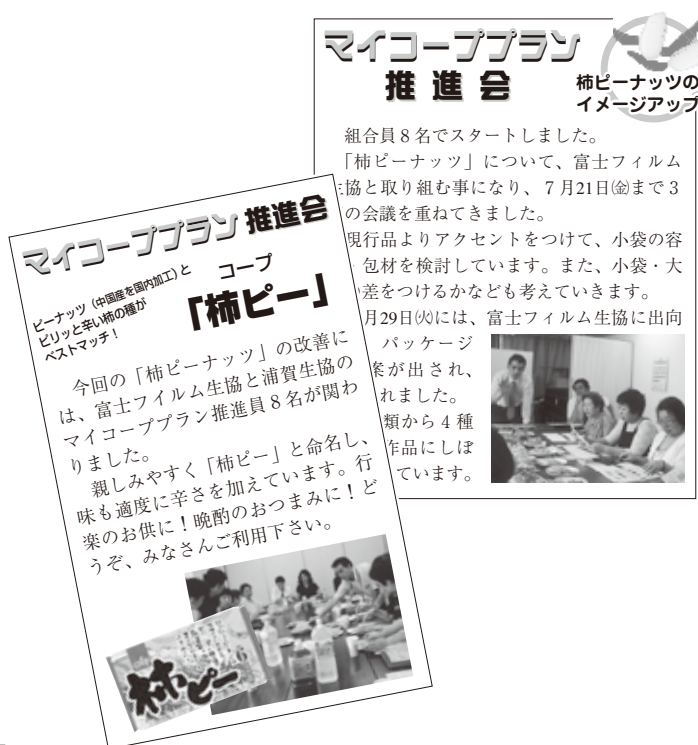
2005年度（平成17年度）

- ・創立50周年のつどい
2005年度は創立50周年を記念し、様々なイベントを開催
- ・宅配センターが森崎へ移転
コープかながわ（現ユーコープ）と共同で使用していた衣笠のセンターから森崎へ移転



2006年度（平成18年度）

- ・マイコーププラン推進会で商品改善の取り組み
富士フィルム生協と共同で「柿ピーナッツ」の商品改善に取り組み、「柿ピー」として発売
- ・横須賀市健康安全科学センターを視察
横須賀市運営協の一員として新設の同センターを視察



2005年度 社会の動き

- 3月 愛・地球博（愛知万博）開催
- 4月 JR福知山線脱線事故
- 11月 耐震強度偽装問題
- 2月 トリノオリンピック・パラリンピック開催
- 3月 第1回ワールドベースボールクラシック（WBC）開催

2006年度 社会の動き

- 6月 サッカーワールドカップドイツ大会
- 9月 秋篠宮家の長男悠仁さま誕生
- 10月 携帯電話の番号ポータビリティ制度開始

2007年度（平成19年度）

- ・マイコーププランの取り組み「ふんわりさ
つま揚げ」発売
全日本海員生協、富士フイルム生協と浦賀
生協の3生協で味やパッケージにこだわり
開発
- ・神奈川県に「食の安全・安心条例」の制定
を求め、署名活動を開始


マイコブラン
私の安心つくりたい

いよいよ
発売!

ふんわりさつま揚げ

共同購入・個配	9月19日(水)
店	舗 9月26日(水)

お弁当に
おまけに



季節の海苔が
生かす味

全日本海員生協、富士フィルム生協、浦賀生協の組合員が「味」「パッケージのデザイン」等に取り組み開発しました。
来永くご利用ください。

<div> <div>署名活動</div> <div> 神奈川県に「食の安全・安心条例」(仮称) 制定を求めます </div> </div>							
<div>食の安全・安心の心から、食生活と健康増進の推進</div> 	<div>食生活と輸入食品は市民の生活に身近な輸入食品の規制強化を推進</div> 	<div>食の安全と食料自給を促す、食の心と暮らしの安全を推進</div> 	<div>食生活と食の安全を推進、食の心と暮らしの安全を推進</div> 	<div>食生活と食の安全を推進、食の心と暮らしの安全を推進</div> 	<div>食生活と食の安全を推進、食の心と暮らしの安全を推進</div> 	<div>食生活と食の安全を推進、食の心と暮らしの安全を推進</div> 	<div>食生活と食の安全を推進、食の心と暮らしの安全を推進</div> 

2008年度（平成20年度）

- ・浦賀生活協同組合から生活協同組合うらが
CO-OPへ名称を変更
- ・宅配センターが内川へ移転
初の単独配送センターに
- ・産地交流会
三浦市毘沙門の木村農園にて開催



7月号 心を込めて 自信作 6月18日(水)	<p>私たちの現況 (5月20日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現金当座　342,926円 ●金銀・株　498円 ●カード等　5,000円 ●借入金等　5,000円 ●雑資金　534,180.72万円 ●総純資産　823,588.32万円
--	--

2007年度 社会の動き

- | | |
|----|----------------------|
| 4月 | 第16回統一地方選挙 |
| 4月 | みどりの日が昭和の日に |
| 9月 | H-IIAロケット「かぐや」打ち上げ成功 |
| 1月 | NTTドコモがPHSサービスを終了 |

2008年度 社会の動き

- 5月 主婦の友休刊
5月 アフリカ開発会議が横浜で開催
6月 岩手・宮城内陸地震発生
7～9月 ゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な激しい
雷雨が頻発

・茶摘み体験（大高茶園）

- ・「神奈川県食の安全・安心の確保推進条例」
が成立

2009年5月8日(金)

本年度は組合員活動委員会主催による、3つの見学会が企画されています。その第一弾の企画「大高茶園茶摘み体験」で、静岡市駿河区丸子へ出かけました。初参加の方、2夫婦で参加の方など公募参加者は39名でした。移動中降っていた雨も現地滞在中は降らず、新緑の美しい現地で、



茶摘み初体験の方がほとんど。
腰が痛い～。作業のご苦労を体験。

茶摘み体験を実施することができました。大高一彦さんは手揉み保存会にも所属し、その技法を次世代に伝承されています。

多くの茶畑は山間の急斜面にあり、深い霧の中で育つ当地の茶葉は、柔らかく煎茶にふさわしいのだとか。製法によって、煎茶、深蒸し茶、ウーロン茶、そして紅茶になるのだそうです。

・長沢店が改装オープン

- ・ mamaの広場長沢店としてリニューアルし、生鮮食品を中心に取扱商品が拡大
- ・ 3月11日に東日本大震災が発生 以後、店舗や宅配は商品が品薄状態に
また、店舗は計画停電などに対応し営業を継続
- ・ 東日本大震災支援募金を開始



5月	新型インフルエンザの流行
5月	裁判員制度がスタート
8月	衆院選で民主党が与党に
11月	行政刷新会議の「事業仕分け」

6月 小惑星探査機「はやぶさ」がサンプル回収成功 7年ぶり帰還

8月 チリ鉱山落盤事故

3月 東日本大震災 国内観測史上最大マグニチュード9.0



2015年度（平成27年度）

- ・福島の子ども保養プロジェクト開催
野島でバーベキュー
- ・協同組合まつり
三笠公園にて開催
- ・店舗にて「あんしん福島募金」を実施
- ・長沢店閉店

福島の子ども保養書を出版せよ！

福島の子ども保養プロジェクトの成果をまとめた本が出版されました。この本は、福島の子ども保養プロジェクトの活動の記録として、また、福島の子ども保養プロジェクトの成果を伝えるための資料として、重要な役割を果たすものと期待されています。

出版された本は、福島の子ども保養プロジェクトの活動の記録として、また、福島の子ども保養プロジェクトの成果を伝えるための資料として、重要な役割を果たすものと期待されています。

～福島の子ども保養プロジェクト in 神保川～

春休み、野島の海辺で
良・カニ・海苔にご対面！

3/26～3/30
横浜市野島青少年研修センター

福島の子ども保養プロジェクトは、福島の子ども保養プロジェクトの活動の記録として、また、福島の子ども保養プロジェクトの成果を伝えるための資料として、重要な役割を果たすものと期待されています。

出版された本は、福島の子ども保養プロジェクトの活動の記録として、また、福島の子ども保養プロジェクトの成果を伝えるための資料として、重要な役割を果たすものと期待されています。

2016年度（平成28年度）

- ・浦賀店リニューアルオープン
- ・福島の子ども保養プロジェクト開催
ソレイユの丘でカピバラ・カンガルーとふれあう

Mama's広場 浦賀店

69歳リニーマオープン!

浦賀店が新しく生まれ変わりました。

69歳リニーマオープン! 浦賀店が新しく生まれ変わりました。

69歳リニーマオープン! 浦賀店が新しく生まれ変わりました。

69歳リニーマオープン! 浦賀店が新しく生まれ変わりました。

2015年度 社会の動き

- 9月 ラグビーW杯 日本が南アフリカに劇的な勝利
- 9月 安全保障関連法が成立
- 10月 マイナンバー法施行

2016年度 社会の動き

- 4月 熊本地震発生 M7.3を記録
- 8・9月 リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催
- 11月 協同組合がユネスコの世界無形文化遺産に登録
- 1月 米大統領にトランプ氏が就任

2017年度（平成29年度）

- ・福島の子どもも保養プロジェクト開催
野島でバーベキュー
- ・おやこじゃが芋収穫体験
三浦・木村農園にて開催
- ・協同組合まつり
三笠公園にて開催



2018年度（平成30年度）

- ・組合員交流会でうちCO-OPリサイクルセンターとフードバンクかながわを見学
- ・神奈川県生協大会
うらがCO-OPは「豊かに健やかに生きる」のテーマで活動報告



2017年度 社会の動き

- 6月 中学3年生の最年少将棋棋士 藤井聡太四段がデビュー戦から29連勝で新記録達成
- 9月 北朝鮮が弾道ミサイル発射 日本上空を通過 Jアラート発令
- 2月 平昌オリンピック・パラリンピック開催

2018年度 社会の動き

- 7月 西日本豪雨災害
- 9月 安室奈美恵さん引退
- 10月 本庶佑氏 ノーベル生理学医学賞受賞
- 2月 テニス 大阪なおみ選手が世界ランク1位

- ・第65回通常総代会開催
横須賀商工会議所多目的ホール
令和になって初めての通常総代会開催
- ・組合員施設見学会でユーコープ商品検査センターを見学
- ・大津店閉店
- ・鴨居店閉店



- ・コープ商品が60周年を迎える
- ・コロナ禍での第66回通常総代会開催
組合員の安全を考え、書面議決を活用し、
出席総代数を制限して開催
- ・機関紙うらが500号発行



5月 「令和」に改元
10月 消費税が複数税率に
標準税率10% 食料品などは軽減税率8%
10月 沖縄の首里城が焼失

4月	新型コロナウイルスにより日本全国に緊急事態宣言
7月	レジ袋の有料化義務化
7月	熊本豪雨災害
2月	新型コロナウイルスのワクチン接種開始

- ・神奈川県生協大会
コロナ禍のため、オンラインで開催
- ・ユニセフ学習会開催



・カレンダー募金の取り組み開始



※写真は2024年度開催のもの

7月	東京オリンピック・パラリンピック が1年延期を経て開催
8月	新型コロナウイルスの変異株が猛威
11月	米野球“二刀流”大谷選手がMVP
2月	ロシアがウクライナへ侵攻開始

7月	安倍元首相が銃撃され死亡
7月	国内における1日あたりの新型コロナウイルス感染者数が20万人を超える
10月	1ドルが150円を突破 32年ぶりの円安水準を更新
3月	野球WBCで侍ジャパンが14年ぶりの世界一

- ・新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、対面での組合員活動を再開
- ・プリペイドカード“ToMaCa（トマカ）”使用開始
- ・味噌づくり体験会



- ・ 第70回通常総代会開催
- ・ こどもまつり開催
- ・ 夏休みこども企画「お仕事体験会」開催
- ・ フードドライブ開催

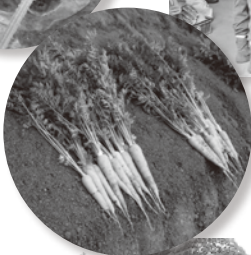
[illegible][illegible]

2024年度 社会の動き

- | | |
|-----|---------------------|
| 7月 | 20年ぶりに新紙幣が発行される |
| 7月 | 令和の米騒動や物価高騰が家計を直撃 |
| 8月 | パリオリンピック・パラリンピック開催 |
| | 日本勢は夏季五輪で過去最多のメダル獲得 |
| 10月 | 石破内閣発足 |

ギャラリー





.....

編集後記

.....

創立70周年。この記念すべき節目の年にあたり、今年の2月、70周年プロジェクトチームが始動いたしました。職員、理事、そして各エリア会が一丸となり、「うらがCO-OPを支えてくださる組合員の皆さんに、感謝の気持ちを伝える！」という強い思いが出発点となりました。

プロジェクトの一環として、本誌の作成が決定。過去の機関紙や資料を振り返る作業は、70年分という膨大な量でしたが、同時にうらがCO-OPの歴史を改めて深く学ぶ貴重な機会となりました。

思えば、2025年は昭和100年、戦後80年といった時代の節目でもあります。激動の昭和から令和へと続く社会の歩みを、うらがCO-OPの歴史と重ね合わせてみると、その軌跡は常に私たちの暮らしに深く繋がっていることを実感します。創立当初から掲げられてきた「安心・安全で、組合員の生活のお役立ちになる」という理念が、いかに重要なことか痛感しました。

多くの先人たちが道を切り開き、後世へと繋いでくださったこの70年間。本誌を手にとってくださった皆様、そしてうらがCO-OPに関わる全ての方々へ、心より感謝と敬意を表します。

「ありがとう70周年 これからも皆様とともに」

この感謝を胸に、私たちは次の時代、次の節目へと、この尊い糧を力強く繋いでいけるよう、さらなる精進を重ねてまいる所存です。

70周年記念誌編集委員一同

2025年12月 発行

発行 生活協同組合うらがCO-OP
横須賀市浦賀6丁目2番18号
印刷 文明堂印刷株式会社
横須賀市東浦賀1丁目3番12号

生活協同組合 **うらがCO-OP**